

開 心  
静 聴  
充 満  
献 身  
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

春季号

# 日本アシュラム

Spring 1980

United Christian Ashrams of Japan

31

Silver Jubilee of Japan Christian Ashram  
Nov. 24(Mon)~26(Wed)1980, at Tozanso, Gotenba,

日本を愛し、日本の教会に初代会の原点であるコイノニヤを回復させたいとの祈りを以て、故スタンレー・ジョーンズ博士は、彼の日本伝道第四回目（一九五五）に初めてアシュラムを天城山荘において開設された。



当時参加した百数十名は従来の修養会や研修会とちがいで、終始主イエスを中心として魂の渴きを潤おされ信仰の深みに導かれたことを感謝し続けて今日まで各自の教会で、また地区共同してアシュラムを守るようになり、今日では全国数十ヶ所で開催される。多くの信徒が恵まれている。わが連盟はジョーンズ博士が最後の第十回日本伝道の際、各地に組織された八地区委員会の連絡機関に過ぎないが、この年、二五年という記念すべき年を迎え、主イエスと創設者スタンレー・ジョーンズの霊に対して感謝の誠を捧げたいと切に祈る次第である。

日時、会場は表記の通り決定した。主題は「イエスは主である」のアシュラムの根本原理を高調することになっている。助言者は、世界最初のアシュラム発祥地、インドのサトタルから遙々と祝賀と助言のために来られるタヤ・P・タイタス牧師。その他、わが国の有力な指導者たちである。タイタス師は二年前第三回国際アシュラムにも来日され、豊富な信仰体験からすばらしいメッセージを与えられたので、記憶に新しい方々も多いと思う。

この恵みの御座に全国各地のアシュラム同志が、今から「祈り、捧げ、参加する」ために御準備と御協力を開始されるように祈ってやまない。

タイタス師の横顔

タヤ・プラカシユ・タイタス師は一九一三年十月インドのビハール市に生れ、両親はヒンズー教からの改宗者であった。ルーテル教会で育ち、聖公会で堅信し、二五才でアッセンブリー教会で回心した。十四年間の公務員を辞し按手を受けメソジスト教会の牧師となり、多年カンプールやラクナウの大教会を牧した。インド全国伝道会の書記、七七年の全インド伝道会議の副議長をつとめた。ジョーンズ博士とは過去二四年間親交し、全インド・アシュラムの総務に任命された。世界各地に伝道し、多くの伝道用小冊子を出版している。現在はサトタル中心に活動中である。

二十五周年記念感謝  
全日本クリスチャン・アシュラム  
十一月二四日(月)~二六日(水)  
静岡県御殿場市・東山荘にて

りであって、常に新しい家  
単位)の参加を期待している。  
編集人 海老沢 宣道  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部 50円 千 50円

# 聖餐式のメッセージ キリストの聖杯

## ウィリアム・バーグ師

第三回国際アシュラム(一九七八年秋・東山荘)に於て最後の日早朝の聖餐式で感銘深いメッセージがバーグ師を通して与えられた。その要点は左の通り。

### 聖書ピリピ書二章五―十一節。

主に在る兄弟姉妹、今私の手にあるのは友人から頂いた大切な宝であります。木で掘られた小さな器ですが、これは主の御手にある杯です。主イエスは杯を取り『これは多くの人のために流す私の契約の血である』と言われました。

第一にそれは御臨在の杯です。主の御手にある杯を受ける者に主は共に臨在され、罪の赦しを与えて下さいます。私たちがそれに口を触れる時、主イエスに触れることを意味します。主があなたに触れて医されます。日本の天皇、瑞典の国王、米国の大統領が来て何か贈物を上げようと言われたら私たちの心は躍るでしょう。彼らより大いなるお方がここにおられます。皆様の名を呼び、この杯はあなたの罪の赦しのために流すものだとおられます。主の御臨在を覚えましょう。ある母親から聞いた話ですが、その娘は雷鳴を恐れるので、そばにいて手をおくと安眠しました。母が手を離すと娘は

また不安になり、雷鳴がすると叫び出しました。再び母が手をおくと、『ママ、あなたがここにいたのを忘れていたわ』と言って深い眠りに入ったのを見、この母親は祈りました。『神よ、私もあなたが共にいて下さることを忘れていました。お許し下さい』と。そして就寝したということですが。主がここに今おられることを覚えましょう。



バーグ博士夫妻

まれました。聖書にある通り主は私たちのために罪を負い、罪人となられたのです。これこそゲッセマネの愛の杯です。第三にこれは憐みと赦しの杯です。主はまず杯を全部飲みほされて、空になった杯の中へ救いと憐みを注がれました。福音とは罪を赦すだけでなく、罪からの自由を与え、再び罪を犯すことのない全き解放を意味します。今私たちは主のきよさと完全、主の平和と喜びと力を、この杯から受けましょう。永遠の命を与えるこの杯を飲みほしましょう。悪魔がきて『お前のような罪人が許されることはないよ』と言う時、この手にある杯を示せば、彼は逃げ去るのです。この杯によって全ての罪が許されているからです。

第四にこれは記念の杯です。これを手を取る時、主イエスを覚ええます。主が誰のために血を流されたかを思うのです。この思いを他人にも分け与えたくありません。これは天国の宴会で、地上にはないすばらしい食卓です。今は荒野で主を仰いでいるが、やがて天において主に見えるのです。私たちはこの世では旅人ですが、この杯によってきよめられた神の子らは最後の時にその喜びに洩れることはありません。小羊の婚宴の坐につくことができます。中路さん、大石さん、海老沢さん、皆さんお一人お一人が、その祝宴で再会できるのです。私たちは新しい体に変えられ、病も痛みもなく、天国の聖餐式で、神の全能の知恵を与えられます。そして神の栄光をさんびする。何とすずらしい日でしょう。この杯を喜びも

### 好評

海老沢宣道著

## アシュラムの原則と実際

定価300円 760円

アシュラムの創始者・故スタンレー・ジョーンズ博士の直伝を受けた著者が、平易に解説し今回小冊子にまとめられた。参考書として活用されたい。

日本アシュラム編集部

177 東京都練馬区三原台1-18-1 海老沢方

て受けとりましょう。

インドの話に、ある乞食が王の晩餐会に招かれたが良い服がない。ポロではいけないと思い、王子に断わりに行く、王子が新調の服を買ってくれ、『そのポロ服を捨てて、これを着て行け』と言われた。当日になり乞食は新しい服を着てきたが、ポロ服を風呂敷に包んでいた。食卓についてその包をひざにおいたが、すぐ落ちるので、片手でおさえているため、大きな料理の皿が廻ってきて、片手では料理が取れず、次の人に渡す他はなかった。彼は食事の後も空腹のまま二週間後に死んでいったというのです。主イエスから新しい服を着せて頂いても、ポロを捨てきれないなど、どうなるでしょう。主によってポロを取除いて頂くために全てを明け渡すことはできませんか。黙祷の間にそうして頂きましょう。

### アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

黙想

油断大敵

海老沢宣道

今日の世界的問題の一つは石油であり各国、殊に資源のないわが国などでは大問題です。代替エネルギーを考えるにしても、おいそれと切替えることは困難でしょう。相当の備蓄があるので多少の時間的余裕はあるでしょうが、もし今直ちに全く油が切れたとしたら、電力もガスも送り出せず、交通や生産は停止し、大混乱が起ることでしょう。油断大敵はこのようなことを言います。

マタイ伝二五章に主イエスは天国の例話の第一として、十人の乙女が花婿を迎える用意のちがいをお話しになっていきます。五人は思慮深く、灯びと共に油を用意していたが、他の五人は灯びだけで油の用意がなく、花婿の到着が遅れる間に居眠りをしてしまったというのです。所が夜中に「さあ、花婿が来た」との声を聞いて目を覚ました時、不用意な乙女たちの灯は消えていたので思慮深い五人に油を分けて下さいと頼んだのですが「皆に十分なだけはないから、お店に行つて買ってきなさい」と言われてしまいました。この場合、なぜ分けて上げないのかと疑問を抱くのですが、実は主イエスの言われた油とは信仰の油、聖霊を備蓄しておくべきことのお勧めなのです。信仰は各自が悔改め、赦され、新生し、聖

霊を受けるもので、いかに親切な信者でも用意のない他人に代つて信仰を備蓄することはできません。主の日が来てから悔改めのやり直しをしても間に合わないのです。油断大敵とはこのことです。

ノアの洪水の時、彼をあざ笑い何の用意もせず、豪雨が降り続き洪水が出てノアの箱舟が浮び上つてから「戸を開けてくれ」と救いを求めても間に合わなかつたように、神の時が満ちる時を見失つては大変です。

イスラエルの民が四十年の放浪生活中に天から降つてきたマナを食べて飢えをしのぐとができた時も、神は各自が夫々一日分を集めるようにと言われ、朝寝坊の怠け者が二日分を集めても、次の朝には腐つていて食べられなかつたとの事です。これは朝早く起きて神の御言（霊の糧）を受けるべきことを示しているのではないのでしょうか。

ある青年が新車を購入し、そのすばらしい色彩を誇つて町中を乗り廻している間に、エンジンを起してしまいました。エンジンがうまく調子で回らなかったが、どこにも故障がありません。ところが原因はガス欠（油切れ）であることが判りました。どんなにスマートな車で、最新のエンジンであっても、油がなければ動く

ことはできません。油断大敵とはこのことを言います。

十人の乙女たちは皆、灯びを持っていました。これは一応イエスを主と信じ、日曜日には教会の礼拝に出席しているク

詩

変えて下さい

熊美枝子

○主、変えて下さい  
この弱い わたしを  
何時でも 他者（ひと）を思う  
やさしい 人に。

○主よ、変えて下さい  
この弱い わたしを  
何時でも 他者をてらす  
明かるい 人に。

○主よ、変えて下さい  
この弱い わたしを  
死には、いのちを  
憎しみには、愛を  
侮人には、尊敬を  
差し出すことのできる  
愛と光の人に。

(一九七九・十二・八、第十四回四  
国アシュラムにて)

リスチャンであるという表面的なしるし  
であります。しかしそれだけでは実際に  
主イエスが再臨される時まで信仰が持つ  
かどうか疑わしいものです。内面的に聖  
霊の油を注がれ、それを溢れるばかりに

(ペリピ書 第二章 十一節)

(三) 聖霊の啓導と充満  
(四) 神の国の体験と献身  
(五) 教会への奉仕と伝道

備蓄している者にはいつ主が来られ、終  
の日が来ても何の不安もありません。  
喜びをもって主の御前に立ち、天国の  
婚宴に招かれることができるからです。  
目をさまして、再臨待望の祈りを捧げ、聖  
霊の油を補給される者となりましょう。  
昔、私の母が幼なかりし私によく次の  
ような讃美歌をうたい聞かせてくれたこ  
とを思い出します。

「夜ひる いつと知らず 主来り給わ  
ん。灯しびを手にとりて 待つ者は誰ぞ  
主よ主よ 早く来ませ 備えは成りぬ  
主よ主よ 早く来ませ わが備えは 成  
りぬ」マラナ・タ。

タイタス牧師の来援日程

この度二五周年記念日本アシュラムに  
講師として招かれたことは、贖われた罪  
人にとって大きな恵みであると喜んで御  
来援下さる同師の日程は、次の通り。

- 十一月二日(土) インドから東京着
- 二三日(日) 碑文谷教会礼拝
- 二四日(月) 日本アシュラム
- 二五日(火) 一・二六日(水) 同
- 二七日(木) 札幌アシュラム
- 二八日(金) 〃
- 二九日(土) 東京着
- 三十日(日) 江古田教会礼拝
- 十二月一日(月) 東京発、香港着
- 二日(火) 夜、香港発
- 三日(水) シンガポール
- 四日(木) ニューデリー
- 五日(金) サト・タル帰着

25周年記念 日本クリスチャン アシュラム  
プログラム 於 東山荘 8' 11. 24-26

	11月 24日(月)	11月 25日(火)	11月 26日(水)
6			
7	《主題》 『仁は主であらう』 定員・200名	祈禱の時 (指導) 伊藤宮	祈禱の時 西園寺本 聖餐式
8		朝食	朝食
9	申込先・西川口教会 申込金・1000円 宿泊費・12,500円 X切日・11月15日	福音の時 (強) 伊藤宮 (同) 村上	福音の時 (9192) (同) 中村
10		祈りの細胞 (強分別)	光禱の時 (同) 海老沢
11		敷居 婦人 老人 青年	
12		昼食	昼食
1	《登録》	ファミリーアワー (各地区)	散会
2	開会礼拝 (地) 中野 (同) 別荘	労作の時 (指導) 櫻山	
3	全祷關心 (指導) 別荘	自由	
4	聖書の時 (9192) (同) 白川	祈りの細胞 (今個別)	通訳 は中 内村
5	夕食	夕食	
6			
7	祈りの細胞 (今個別)	賛美とみかし (同) 内村 聖書の時 (9192)	《北海道アシュラム》 27日(木) 28日(金) 東駒内青少年センター
8			
9	完履 (入浴)	完履 (入浴)	
10	連鎖祈禱	連鎖祈禱	

共催 日本クリスチャン・アシュラム 連盟八地区委員会

日本アシュラム二十五周年記念  
感謝献金を募る  
目標額 金百五十万円

二十五周年記念の全日本アシュラムのプログラムが委員会によって、左記の如く決定発表されました。一同は毎月集まって祈りの中に準備を進めています。近日中にポスター、プロチャア、募金趣意書などの印刷が出来上るはずですが、今回のためにインドからタイタス師を招く旅費から滞在費、謝礼、前記の印刷

代や宣伝費、通信費、通訳の謝礼、その他事務費などを考えると、少くとも金百五十万円が必要となります。そこで全国の主に在る兄弟姉妹に訴え「折り、捧げ、参加せよ」と呼びかけ、全ての必要が満たされるよう御加禱と御協力をお願いする次第であります。なお、今回はタイタス師に特に二日を割愛して頂くようお願いした所、快諾されて、札幌アシュラムを始めて開催することが出来る運びとなり、この上なき喜びであります。このためにも皆様の御加禱と御協力を切にお願いしなければなりません。

各地だより

▼東京城北アシュラム

第十回城北アシュラムは、去る二月十一日(月)午前九時半より中野区野方の天門教会(有馬蔵弘師)を会場として、主題「感謝とさんび」のもとに十八教会から六一名が参加して開かれた。島隆三郎師の開会説教、海老沢宣道師の指導による開心の時、いよいよ主の御臨在を覚え、中食時のファミリーアワーで交わりを深め、午後は大石嗣郎の司会で聖言を静聴し、神山良雄師により「恵みの時」に導かれ、五郎屋に分れて「祈りの細胞」となり、お互いのニードのために折り合い、最後に山根可弼師により、充滿の祈りと献身の時が深い靈感のうちに守られ、日本アシュラムのために席上献金をした。

▼西川口教会アシュラム

去る二月十六、七両日西川口教会(横山義孝師)にてブラジル聖北教会の小野助一師を迎えて守る。二教会から六二名参加、大きな祝福を受けることができ一同感謝。

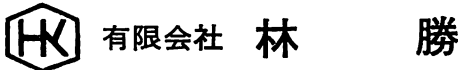
▼東京城西アシュラム

去る四月二十九日(祝日)東小金井教会(湖江淳一師)にて主題「まことのぶどうの木」の下、準備祈禱に初まり、草村美師の開会説教、植村俊雄師の指導で開心の時を持ち、中食時に「祈りの細胞」に分れ、ファミリーアワーに続いて湖江師司会でヨハネ伝十五章を静聴、主の御声を聴き、最後に充滿の時(草村)を感謝のうちに守ることができた。参加者は十二教会から二十五名ほどであったが昨年より内容的に遙かに充実したものを経験し、一同主をさんびつつ帰路についた。なお二五年記念日本アシュラムのために席上献金を捧げ、写真撮影も行った。

キリスト教会々堂用聖具販売

説教台、花台、聖餐台、長椅子  
メールBOX, etc

韓国信愛聖具工芸社 西日本総代理店



本社 〒544 大阪市生野区勝山南1丁目1番5  
電話 (06) 731-5077 (代)  
夜間 (06) 717-5367

東京都目黒区中央町1-21-10  
福音文谷教会気付